

# リベにゆ〜

## vol. 18

『リベにゆ〜』とは…

リベラル在学生在  
受験生に送る  
リベラルアーツ学部  
の情報誌です。

リベラルアーツ学部広報部

## 「広さも深さもある」それが リベラルアーツ教育！

リベラルアーツ学部って教養学部ってことでしょ。

教養だし、広く浅く勉強するってことでしょ。

そう思っているそこのあなた。違うんです！

「教養」とは…

学問や幅広い知識、精神の修養などを通して得られる  
創造的活力や心の豊かさ、物事に対する理解力のことです。  
また、その手段としての学問・芸術・宗教などの精神活動のことです。

つまり、「社会生活を営む上で必要な文化に関する広い知識」ということなのです。  
そして、それらを学ぶのが、「一般教養」や「教養教育」なのです。

しかし、その「一般教養」や「教養教育」という言葉は、  
リベラルアーツ教育の内容を必ずしも表していません。

「リベラルアーツ教育」とは……

文学・芸術などの人文科学からの社会科学・自然科学に至る様々な学問を広く、  
学際的に学び、さらに、特定の専門領域を多角的な視点から深めていく教育なのです。

したがって、「リベラルアーツ」と「教養」の違いは…

大学などで学ぶ「教養」というのは、専門のための基礎知識、  
または専門へ伸びていくための土台で、専門に特化しないという特徴が根強くあります。  
それに対して、「リベラルアーツ」というのは逆に専門分野への、  
また専門分野同士の隔たりをつくらないことで広く深い学びを実現させ、  
専門分野を多角的な視点から深めていくことができるのです。

## リベラルアーツで 教員を目指す！

リベラルアーツ学部では、国語と英語の教員免許を取得できます。

その中でも、玉川大学で唯一「国語」の教員免許を

取得できるのは、リベラルアーツ学部。

果たして、どのような人がいるのだろうか？

なんでリベラルで国語？

国語教員になりたいけど迷っている君！

こういう考え方もアリなんです！！

今回は、国語教員を目指している先輩に、

なぜリベラルを選んだのか、聞いてきました。

— なぜリベラルに入って国語の教員になろうと思ったのですか？

国語の教員を目指すなら国文科というようなイメージは僕にはありませんでした。もともと高校時代は理系で、数学や生物が好きで、はじめはそっちで教員になろうかなと思っていました。玉川でも農学部を見学しに来たくらいですから。(笑) だから、「教員になりたい」という気持ちはあったのですが、具体的にこの教科じゃなくて、という気持ちは僕にはありませんでした。そのように考えていた中、リベラルの存在を知ったときは衝撃的でした。「まさにこれだ！自分のやりたいものは！！」と。もともと幼少の頃から、本を読むのは好きで、国語も好きな教科だったので、「これしかない！」と思いました。

— なぜそのような衝撃を受けたのでしょうか？

大学では専門を身につけなくてはなりません。しかし、果たしてそれだけでいいのかなど僕は思っていました。やはり専門知識は必要。それはわかります。その教科を教えなければいけません。でも、プラスαの知識や力がないと教員としてやっていけないと考えていました。リベラルは、まさにそういう力を身につけられる環境だと思って、ここに決めました。

— 入学してから何を感じていますか？

僕は国語の教員になるという意識で入学をしましたが、周りには必ずしも教員を目指しているわけではありません。「心理学を勉強したい」「音楽をやりたい」など、目指すものも違って、考え方や見方も様々でした。こういう環境は国文科や教育学科にはないのだと思います。僕は、リベラルは「学校」と似ている、と思いました。生徒は国語が好きならいけば嫌いな人もいます。当然興味や関心を懐くことも十人十色で、それこそリベラルなのだ。だからこそ、「国語」だけでなく、プラスαの勉強がしっかりでき、「国語」という専門領域を、多角的な視点で考えていけるリベラルで「国語」を学ぶことができてよかったと思っています。

— なるほど。リベラルだからこそ目指せる教員の姿がそこにはあったのですね！

# 先輩の時間割

日本学メジャー  
中高国語の教員資格取得を目指す2年生

■プロジェクト演習Ⅰ

プロジェクト演習では、民俗学を学ぶことができる、八木橋先生の授業を取りました。この学期の前に、「民俗学入門」という授業を取っていたのですが、そこで「民俗学」のおもしろさを知って、次のセメスターも勉強してみたいと思って取りました。内容は、基本的な調査の仕方や自分の担当した部分のプレゼンテーションが中心でした。「聞く」ことが大半を占める講義とは違い、自ら文献を調べたり、実際に聞き書きを行ったりと、学び方も今までと違って、物事の見方や考え、何より勉強の仕方が大きく変わりました。

■古典文学演習Ⅰ

この授業は、講義ではなく演習になり、自分たちが担当箇所を研究し、発表するという時間です。担当者はまず自分で作ったレジュメに沿って、研究した内容を発表します。発表は30～40分くらいで、そのあとは、ひたすら質疑応答です。質疑応答では、研究者の意見と違う意見が出てきて、そこから新たな発見があったりもしました。また、授業を取っている人も教職の人たちなので、授業以外でもその作品について議論をしたりすることも。この授業を通して、「古典」の見方も大きく変わって、古典嫌いだっただ私も古典が好きになりました！

■教職関連の授業

教職を目指しているので、やはり教職関連の授業は多くなります。どの授業も教職を志す上で大切なものばかりで、教員になるためには、様々なことに目を向け、常に生徒を意識することが大事なのだと、改めて感じる事ができました。また、授業では、先輩で教職をとっている人とも一緒にになるので、先輩方と話すのもとても勉強になりました。道德の指導法では、以前まで横浜市で小学校の校長先生をしていた先生に教わる事ができ、現場に長年板からこそ感じる事など、多くを教えてもらい、大変貴重なものとなりました。

□空白=空き時間

1つの授業は基本的に100分。  
つまり、1コマ空けば約2時間フリー！

大公開！

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.
1					
2		コンピュータ と学習支援			
3					
4			古典文学 演習Ⅰ		
5	プロジェクト 演習Ⅰ	文章表現	日本文学史		
6					
7		学校制度 と社会			
8					
9	人間の発達 と学習	日本国憲法	道德の指導法	教師論	
10					

## 突撃！学生インタビュー！

教員を目指す2年生

教員を目指す上で、  
早くから現場に行っ  
て学べるのは強み、  
と話してくれたUくん

## オフキャンパススタディーズってなに？

リベラルアーツ学部の多彩な学びの中から、  
今回は「オフキャンパススタディーズ」という学びのスタイルを紹介します。  
実際にオフキャンパススタディーズを活用しているという先輩2人に  
どのようなことをやっているのか、インタビューしてきました！

Q オフキャンパススタディーズを行おうと思ったのはなぜですか？

A 授業時間内だけでは調査時間が足りないので、フィールドワークを活用し、学外での実践的な調査に踏み切り、研究を進めたいと考えたからです。また、学外の方のお話を聞くことは、ゼミで行っているフィールドワークには欠かせないので、調査を正確に行うためにも、オフキャンパススタディーズで集中的に調査することがとても有効だと思いました。

Q オフキャンパススタディーズでは、何をしていますか？

A 私の所属しているゼミでは、東京外かく環状道路の計画と沿線地域の問題について学んでいます。実際に調査の対象になっている地域に赴き、住民の方に聴き取り調査を行ったり、行政も関わっている問題なので、国土交通省の方にお話を伺いに行っています。

Q 実際に行ってみたいのですか？

A 推測していた結果と異なったり、新しい発見ができたりするので、一回一回の調査はとても貴重なものだと感じました。また、住民の方は道路ができるかできないかで生活環境ががらりと変わります。そのため、非常に重い問題であり、真剣に取り組もうという意識を再度持つことができ、とても良い経験ができたと思っています。

社会学を学ぶ2年生

フィールドワークで  
学びの幅が  
広がってきている  
と話してくれたKさん